

公益財団法人致道博物館
令和6年度 事業報告

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

令和6年度 致道博物館 事業報告

◆概況◆

令和6年度の致道博物館事業は、コロナ禍を脱し一時停滞感がみられたものの個人消費の復調やインバウンド需要増もあり、国内経済が幅広い分野で回復基調にある中で実施された。

重点事業として旧西田川郡役所の大時計修理並びに展示リニューアルを実施し、計画通り4月27日（土）に再公開を開始した。好評を得て展示工事を追加施行し、長らく閉鎖していた同郡役所旧応接室に礒貝吉紀ドールハウス和もの作品を展示し、11月15日（金）に追加公開した。

また、コロナ禍の影響により長らく中止していた合同茶会（4流派から2流派開催に変更）と姉様人形教室作品展を復活開催した。事業の見直しに努めるなかで、2月に発行していた館報を年度ごとの報告に変更するため6月発行に変更した。例年3月に実施していた「東京友の会の集い」は、令和7年7月に「友の会総会」として鶴岡で開催することに変更した。

その他の各種事業については概ね計画に基づいて実施した。詳細は下記各項に記載し報告する。

最後に、監事として長きにわたり財団の指導にあたられた氏家昇一氏が、2月に逝去された。生前のご厚誼に深く感謝するとともに、謹んで哀悼の意を表します。

◆事業別報告◆

公益目的事業1

歴史的な郷土資料や文化財等の博物館資料を調査収集、研究、保管、修復し、一般公開のための展示や教育普及活動を行う事業

1 重点事業

（1）重要文化財旧西田川郡役所再公開事業

災害復旧および応急的な耐震補強工事のため、令和3年6月より公開を中止していた旧西田川郡役所の展示リニューアル等を行い、特別内覧後に4月27日より一般公開を再開した。

※令和5年度追加の継続事業で、クラウドファンディング等の寄付金を充当して実施。

- ◎大時計の修理（文字盤・指針を交換、駆動機を電波時計に変更）
- ◎1階展示：礒貝吉紀ドールハウス、アンティークミニチュア洋食器
- ◎2階展示：庄内の考古資料室（再展示）



大時計の取付け



再公開セレモニーのテープカット

2 保存管理事業

(1) 指定文化財の保存管理事業

- ①重要文化財建造物（旧西田川郡役所・旧渋谷家住宅・旧鶴岡警察署庁舎）の保存管理として、部分ペンキ塗装（郡役所の北面1階と全面の一部、警察署の西面1階）、差し茅（渋谷家の北側）、防災設備・電気設備等の保守点検、定期清掃を行った。
- ②名勝酒井氏庭園の除草、清掃、樹木の剪定、雪吊り、池水の浄化等を行った。
- ③国・県・市指定文化財を適正に管理するため、保存環境の維持に努めた。特に重要有形民俗文化財収蔵庫の地下1階が夏期の猛暑で高湿になったためか、展示ケースのガラス内外両面に黴斑がみられ、エチルアルコールによる除去作業を実施した。

(2) 指定文化財以外の保存管理事業

①歴史的建造物の保存管理事業

館内の防災・電気設備等の保守点検や修繕を行い、火事や地震等の災害予防および訓練を実施した。夜間防犯は警備保障会社へ委託、適正に管理した。特に、御隠殿關雎堂の漆喰壁崩落修理、美術展覧会場の水道管漏水対策工事、ガラス扉フロアヒンジ交換など、施設老朽化による小修繕が頻発した。2月に御隠殿の障子の全面貼替を行った。

②博物館資料の受入と保存管理

寄贈申込みを精査して受入れ、資料台帳の整備・データ化を進めた。また必要に応じて補修を施し、各種資料の定期的な手入れ、適切な収蔵環境の維持に努めた。

- ③松ヶ岡施設（重要有形民俗文化財「庄内の米作り用具」収蔵庫）の保存環境を維持し、防災設備の保守点検を行った。また、松ヶ岡開墾記念館（平成29年度より鶴岡市から管理運営を受託）の施設管理および展示貸出中の館蔵資料等の保存管理を行った。

3 展示事業

(1) 常設展示事業

- ①6棟ある常設展示棟の部分的な展示替えや資料・作品の差替え、案内説明看板・解説パネル・キャプションの改訂・更新などを随時実施した。特に、御隠殿の戊辰戦争・西郷隆盛関連の展示は、日本遺産サムライゆかりのシルク協議会の補助金を得て、長期展示に耐えるアクリルパネルの制作を行った。



旧西田川郡役所沿革を新規設置



ドールハウスパネル（英訳付）



御隠殿パネルを助成金で新設

4 教育普及事業

(1) 講演会・講座事業

- ①公開講演会は、東京友の会の開催変更に伴い見送った。
- ②土曜講座（5～11月の第1土曜日午後、計3回）を実施した。
 - ・8月3日 笹岡直美氏（東北芸術工科大学准教授、文化財保存修復研究センター専任研究員）「ハワイの仏教文化財から「Aloha Buddha」の世界～」参加者15名
 - ・9月7日 岡部信幸氏（山形美術館副館長）「山形の美術～絵画を中心に～」参加者28名
 - ・10月5日 小幡圭祐氏（山形大学准教授）「三島通庸と庄内」参加者41名

(2) 出版事業

- ①館報「致道」第62号を2月に発行する計画であったが、事業報告を「4月～3月の年度単位」に改め、令和7年6月発行に延期した。頁数や内容を見直し充実に努めたい。
- ②その他、展示案内パンフレットや友の会会員募集チラシの仕様を変更して発行した。

(3) 伝統文化普及事業

- ①各流茶会 6月16日／大日本茶道学会：御隠殿／裏千家：警察署ホール／参加380名。
- ②少年少女古典素読教室（鶴岡市中央公民館・致道館文化振興会議共催） 6月1日～8月3日、全15回／「論語抄」素読／講師：文化振興会議・博物館より各3名／史跡文化財巡り：玉簾の滝、鳥海高原家族旅行村、鳥海イヌワシみらい館、史跡城輪柵跡／受講者14名（小学1年生～中学1年生）と保護者7名／延べ出席人数196名。
- ③「東北文化の日」推進事業参加 10月26日～11月24日／内容：期間中の来館者特典として、土日祝日は小中学生入館無料とした／対象人数合計83名。
- ④刀剣鑑賞会（日本美術刀剣保存協会庄内支部）に協力。
- ⑤庄内姉様人形教室に協力 10月12日～14日にロビー展「姉様人形保存会作品展」。



各流茶会（大日本茶道学会）御点前



（裏千家）入口受付

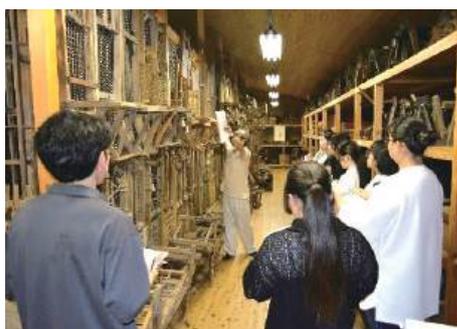


少年少女素読教室の閉講式

(4) 教育啓蒙事業

- ①ボランティア解説員（展示品解説）の活動 4月～11月・3月／解説員5名
- ②博物館学芸員の育成（実習の受入れ） 8月16日～21日の6日間に9大学より10名、1月6日～2月6日の6日間に1大学より1名（社会人学生）／実習内容：美術工芸品（掛軸・卷子・陶磁器・刀剣等）の取扱い、企画展の展示・撤収、古文書資料の整理と保存、拓本技法、美術展の企画と著作権、近隣文化施設見学等。

- ③先賢を偲ぶの会（西郷・菅の「徳の交わり」を顕彰） 令和7年2月16日／参加35名／御隠殿の床の間に祭壇を設けて拝礼し、橋本政之氏（致道館文化振興会議会長）が「西郷・菅両先生に学ぶ～東北公益文科大学の公立化にむけて～」と題して講話した。
- ④東京友の会の集い 計画を見直し、令和7年7月15日に鶴岡での友の会総会開催に変更。
- ⑤博物館資料や郷土史関係等の相談に対応し、適宜助言した。相談件数は約30件。
- ⑥庄内民俗学会・庄内考古学研究会など学会の活動に協力した。
- ⑦広報活動 各種事業の実施に際し、新聞・テレビ・地域情報誌などの報道機関や鶴岡市広報などに情報提供を行い、取材協力依頼に努めた。また、類似施設や市内各所へ広報印刷物を送付し、広報の協力を依頼した。新聞広告や看板、SNSやホームページを活用して広く情報を発信し、館の魅力を伝えることにも努めた。



学芸員実習（松ヶ岡収蔵庫の民俗資料） 学芸員実習（民家の梅干展示） 先賢を偲ぶの会（祭壇風景）

5 調査研究事業

(1) 鶴岡市文化資源調査事業（鶴岡市費補助事業）

- ①山形県指定文化財「大泉叢誌」の翻刻本『大泉叢誌（第8集）』を3月に出版した。
- ②鶴岡市指定文化財「合浦珠」の活字化、酒井家文書等の古文書資料の整理・目録作成・撮影等を行い、データ化を進めた。
- ③酒井家庄内入部400年事業として2年間実施していた高校生学芸員体験を本事業に組み入れ実施した。鶴岡中央高校2年次インターンシップ5名、致道館高校1年次ダイバーシティウイーク10名（5名ずつ2回にわけて実施）が参加した。



『大泉叢誌』第8集翻刻出版 中央高校（職業体験：ポスター発送準備） 致道館高校（学芸体験：文書資料）

(2) 庄内地方の歴史資料・考古資料・民俗資料・美術資料の調査研究整理

(3) 山形県の養蚕資料の整理

公益目的事業 2

優れた美術作品の鑑賞や貴重な博物館資料を紹介する一般公開のための企画展示及び併せて関連する教育普及活動を行う事業

1 展示事業

(1) 企画特別展示 ※山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催

①歴史の扉5 庄内藩と飛鳥

4月1日～4月23日(23日間/無休) 美術展覧会場 ※展示は3月14日より

入場者数：一般2,062名/高大生28名/小中生36名/招待35名/合計2,161名

(総入場者数：一般3,768名/高大生96名/小中生123名/招待145名/合計4,132名)

飛鳥の生活文化や島内で起きた訴訟の様子などについて、古文書や民俗資料などから紹介した。「飛鳥図画」(鶴岡市郷土資料館)、永田家文書(本間美術館)など、計53点を展示した。

②国宝展示 大名酒井家の名宝

4月27日～6月17日(52日間/無休) 美術展覧会場

入場者数：一般8,234名/高大生619名/小中生289名/招待157名/合計9,299名

国宝太刀銘信房作・同太刀銘真光など、大名酒井家伝来品や歴史資料計47点を展示紹介、その時代の歴史文化を考える一助とした。期間中、記念講演会や列品解説に加え、刀剣乱舞ONLINE コラボや刀身彫刻実演を実施した。山形県春の観光キャンペーンにも協力。

③山口吉彦コレクション 探検!アマゾンワールド

6月22日～8月18日(58日間/無休) 美術展覧会場

入場者数：一般6,452名/高大生443名/小中生495名/招待182名/合計7,572名

多種多様な生物との出会い、自然の恵みを楽しみながら暮らす先住民との交流、多様性と持続可能性が議論される今日の課題解決の一助とすべく、生物と自然が「共に生きる」ことの大切さを学ぶ機会とした。貴重なアマゾンの動物の剥製や昆虫の標本、先住民の道具などを公開。ギャラリートークやアマゾン食体験など各種イベントを行い盛況だった。



「庄内藩と飛鳥」展示風景



「酒井家の名宝」展示風景



「アマゾンワールド」トークイベント

④白甕社創立 100 年記念 ART de Shonai 庄内の美術

8月23日～9月16日（25日間／無休）美術展覧会場

入場者数：一般 2,076 名／高大生 218 名／小中生 53 名／招待 52 名／合計 2,399 名

白甕社（はくおうしゃ）創立 100 年の歩みのなかから、代表的な作家を中心に作品約 44 点を紹介。地域の芸術文化の動向、地方美術の行方を展観する機会とした。期間中、ギャラリートークなどを実施し、30 人が参加した。

⑤手のひらに、江戸 檜細工師 三浦宏の粋

9月21日～11月11日（52日間／無休）美術展覧会場

入場者数：一般 6,933 名／高大生 198 名／小中生 564 名／招待 166 名／合計 7,861 名

江戸の町並みや和船、庶民の生活をミニチュアで再現した三浦宏（みうらひろし。東京都出身、1926-2019）氏。本展は東北初の開催となる作品展で、風呂桶職人ならではのこだわりで作られた「湯屋」のほか、「長屋」など江戸の家屋や和船など計 94 点を展示。期間中、記念講演会やスペシャルトークを実施した。

⑥ワッパ騒動 自由民権運動の先駆け

11月15日～1月20日（53日間／年末年始、12月以降の水曜休館）美術展覧会場

入場者数：一般 2,191 名／高大生 72 名／小中生 554 名／招待 97 名／合計 2,914 名

幕末から明治初期にかけての政治動向、ワッパ騒動が起きた背景や森藤右衛門ら主導者層の動向など、その歴史的経緯について古文書を中心に関連資料を計 53 点出品。鶴岡市郷土資料館との同時期開催とし、期間中に同館の共催で記念講演会等を行い計 150 人が参加した。



「庄内の美術」会場風景



「三浦宏の粋」トークイベント



「ワッパ騒動」郷土資料館共催講座

⑦新収蔵品展 刀剣と美術

2月15日～3月31日（39日間／水曜休館）美術展覧会場 ※展示は4月14日まで

入場者数：一般 2,799 名／高大生 169 名／小中生 134 名／招待 184 名／合計 3,286 名

（総入場者数：一般 3,733 名／高大生 195 名／小中生 169 名／招待 233 名／合計 4,330 名）

近年寄贈された美術工芸品の中から、郷土出身の愛刀家・三矢宮松（1880～1959）家ゆかりの書画や茶道具類をはじめ、市民からの寄贈品の刀剣や書画等を出品。短刀銘「大和國住包

行」、刀銘「兼定」、同「備前介藤原宗次」などの刀剣をはじめ、江間細香「墨竹図」、中林竹洞「竹林図」、西郷隆盛「七絶弧村」、高麗焼青磁中皿など計 43 点を出品した。期間中ギャラリートークを実施し、計 70 人が参加した。

⑧第 31 回 鶴岡雛物語

2 月 22 日～4 月 3 日（35 日間／水曜休館）旧庄内藩主御隠殿

入場者数：一般 2,662 名／高大生 155 名／小中生 147 名／招待 190 名／合計 3,154 名
城下町鶴岡に伝わる古典雛を広く紹介し、昔ながらの日本の伝統行事や文化を再認識する機会として実施。今回は、庄内藩家老石原平右衛門家に護り伝えられた酒井家より拝領した有職雛も初公開した。併せて鶴岡市内の菓子店の協力により、鶴岡の伝統お雛菓子も一堂に展示した。期間中、雛菓子づくりなどのイベントを実施し、菓子職人の技に学びながら子どもの健やかな成長を願う契機となった。計 140 人が各種イベントに参加した。



「刀剣と美術」列品解説



新収蔵の刀剣



「鶴岡雛物語」雛菓子づくり体験

(2) 個展・グループ展示事業 ※各個人・団体主催／博物館共催

①第 45 回 鶴岡書道会会員展

1 月 24 日～2 月 11 日（12 日間）

入場者数：一般 453 名／高大生 22 名／小中生 35 名／招待 15 名／合計 525 名
鶴岡市にあり、流派を越えて活動する書道団体（昭和 8 年創設）。会員作品 30 点、特別出品 1 点、および鶴岡市の友好都市・東京都江戸川区の書道連盟幹部の作品 5 点を展示した。

(3) 旧鶴岡警察署庁舎 1 階ホール展示事業

※各団体主催／博物館共催、警察署庁舎 1 階ホール又は美術展覧会場 1 階にて実施

①第 16 回 姉様人形教室受講生作品展

10 月 12 日～10 月 14 日（3 日間）

入場者数：一般 641 名／高大生 17 名／小中生 34 名／招待 4 名／合計 696 名
受講生 6 名の作品を展示、江戸時代から伝えられてきた庄内姉様人形（紙人形）を紹介するとともに受講生の作品発表の場とした。今回は令和元年 10 月以来の展覧会となった。

②第 17 回「砂の会」作品展

11月1日～11月5日（5日間）

入場者数：一般 844 名／高大生 26 名／小中生 47 名／招待 23 名／合計 940 名

加藤景一氏が主宰する「砂の会」の会員 3 名が制作した作品計 30 点を展示。砂を素材にした絵画や立体作品など、個性豊かな作品発表の場となった。

③第 28 回 東洋蘭展（鶴岡東洋蘭同好会と共催）

令和 7 年 3 月 15 日～3 月 17 日（3 日間）

入場者数：一般 296 名／高大生 12 名／小中生 20 名／招待 102 名／合計 430 名

日本春蘭と中国春蘭あわせて展示。終日、出品者である鶴岡東洋蘭同好会会員が説明や質問に応じ、好評を博した。

2 教育普及事業

（1）講演会・講座事業

企画特別展に合わせて下記の講演会やギャラリートーク、各種イベントを実施した。

内容（実施日・イベント名・講師・会場など）	人数
4/13 ^⓪ 「歴史の扉 5 庄内藩と飛鳥」ギャラリートーク	30
4/27 ^⓪ 「国宝展示 大名酒井家の名宝」開幕と旧西田川郡役所再公開の記念式典	65
4/27 ^⓪ 刀剣乱舞 ONLINE コラボイベント、館内撮影会（130 名）、荘内神社・大督寺にてイベント実施	315
4/27 ^⓪ ・5/18 ^⓪ ・19 ^⓪ 刀匠上林恒平氏による制作実演	483
4/28 ^⓪ ・6/8 ^⓪ 「大名酒井家の名宝」展列品解説	60
5/4 ^⓪ ・5 ^⓪ 子どもの日ワークショップ 甲冑試着体験	44
5/4 ^⓪ ・5 ^⓪ 子どもの日ワークショップ 特大折紙カブト作り	36
5/12 ^⓪ アマゾン展開催に先駆けて実施していたワークショップまとめ会	30
6/1 ^⓪ 記念講演会「織田信長と酒井忠次」／講師:金子拓氏／鶴岡市中央公民館	125
7/7 ^⓪ アマゾンワールド展 山口孝彦×大屋満ギャラリートーク・セッション	35
7/14 ^⓪ トークイベント・山口吉彦の探検談	53
7/27 ^⓪ アマゾン食体験（キャッサバの加工と試食）／講師:山口孝彦氏	15
7/28 ^⓪ ブリコラージュ体験・壊れた素材を芸術作品に蘇生／講師:山口孝彦氏	8
8/4 ^⓪ Amazon×Chez Pierre ゲームデザインの話&先住民のゲーム／講師:ガンバリーニ・ピエール氏	11
8/10 ^⓪ ワークショップ レジン封入体験／インストラクター:VITA CAST	9
8/11 ^⓪ アマゾン映像作家・岡村淳氏スペシャルトーク	30
8/31 ^⓪ 「白甕社創立 100 年記念 ART de Shonai 庄内の美術」ギャラリートーク	30
9/7 ^⓪ 特別講座（土曜講座）「山形の美術」／講師:岡部信幸氏	28

9/21㊥ 「三浦宏の粋」展ギャラリーツアー／講師:三浦佳子氏	25
10/20㊥ 記念講演会「江戸町人の暮らしと住まい」／講師:市川寛明氏／荘内神社参集殿	51
11/3㊥ スペシャルトーク「三浦宏さんの人と技」／講師:林直輝氏	38
11/30㊥ 「ワッパ騒動」展ギャラリートーク	31
12/8㊥ 講演会①ワッパ騒動とは何か？／講師:山内励氏・升川繁敏氏／鶴岡市立図書館	71
12/22㊥ 講演会②松平親懐と菅実秀からみたワッパ騒動／講師:門松秀樹氏	48
2/23㊥・3/23㊥ 「新収蔵品展 刀剣と美術」ギャラリートーク	70
3/1㊥・22㊥ 「鶴岡雛物語」解説トーク	45
3/2㊥・9㊥ 雛物語 お雛菓子作り体験／講師:住吉屋菓子舗	67
3/15㊥・16㊥ 雛物語 へんしん！かわいいおひなさま（装束着付）	28

(2) 出版事業

展示解説書を、「国宝展示 大名酒井家の名宝」「ワッパ騒動 自由民権運動の先駆け」で編集発行した。企画特別展の出品目録を全ての展覧会で発行した。

(3) 広報事業

企画特別展の実施に際し、新聞・テレビ・地域情報誌などの報道機関や鶴岡市広報などに情報提供を行い、取材協力依頼に努めた。また、類似施設や市内各所へ広報印刷物を送付し、広報の協力を依頼した。新聞広告や看板、SNS やホームページを活用して広く情報を発信し、館の魅力を伝えることにも努めた。

(4) その他

①「国宝展示 大名酒井家の名宝」開催にあわせ鶴岡市市街地周遊促進事業の補助金を活用して「刀剣乱舞 ONLINE」コラボ企画（ノベルティ配布、等身大パネル展示、イベント実施等）を行った。同期間中、近隣飲食店等の協力でメニュー等を紹介する「鶴岡名物帳」パンフレットを発行・配布した。旧西田川郡役所再公開前に、特別内覧とプロジェクションマッピングを実施した。



致道博物館再始動プロジェクト「時計と展示が動き出す」をテーマにしたプロジェクションマッピング

1 史跡旧致道館(旧庄内藩校)の保存管理活用事業

指定管理者制度により鶴岡市教育委員会と契約を締結、管理運営受託法人として管理運営し、国指定文化財の保存活用を図った。

(1) 施設保存管理事業

①外構管理

除草・清掃、芝刈り、生垣の剪定、樹木の剪定・整枝・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理、泮池の清掃を行った。植栽の樹木・伽羅の枯死が広範に渡り、教育委員会と対応を協議、文化庁の判断を仰いだ上で次年度に撤去することを計画した。聖廟東側外構の一部が陥没し、教育委員会が修復を行った。

②建造物管理

講堂・御入間・聖廟・廟門・表御門・西御門・東御門の日常点検・清掃、防災設備(自動火災報知器・消火器)の保守点検を実施した。夜間及び休館日の防犯等を警備保障会社へ委託して行った。消防訓練を1回実施し、地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。利用者の安全・安心確保のため「旧致道館危機管理マニュアル」の徹底を図った。6月トイレの排水が詰まり、業者点検と配管清掃等により解消を図った。10月表千家同門茶会の際、御居間の畳1枚が炭火により焦げ、表替えが行われた。

(2) 展示事業

- ①藩校致道館の沿革・教育精神・学校制度・積奠・施設などに関する史料を展示、随時キャプションの改訂を行った。
- ②御居間で資料理解の一助と雰囲気づくりとして致道館流「論語の素読」をBGMで流し、床の間には致道博物館所蔵の致道館関係遺墨の掛軸を3ヶ月毎に展示替えした。
- ③御台子之間に「藩政時代をたどる～入部から幕末まで～」を継続展示した。
- ④御居間の床の間に、季節に応じた生け花を設置し、彩りと雰囲気づくりに努めた。
- ⑤「致道館かわら版(A4判1枚)」を定期的に発行し、来館者への情報提供に努めるとともに、記念スタンプの押印スペースを設けることにより、利用者の促進を図った。
- ⑥来館者への配慮として、安全管理や案内表示(閉館時間・順路等)の充実に努めた。

(3) 教育普及事業

- ①藩校致道館教育体験教室・講座 7月27日㊤/28日㊦
「江戸時代の学校『致道館』の学びを体験しよう!」をテーマに、小学生から一般を対象にした「庄内論語素読体験講座」を開催した。8名が参加した。
- ②「論語素読検定」の実施(致道館文化振興会議と共催) 9月1日㊦
参加者25名、合格者は上級8名・中級9名・初級8名であった。

③「孔子祭・致道館の日」式典（主催：致道館文化振興会議）9月28日㊥

御入之間にて、祭典・祝文奉読・論語素読・講経、講演、児童生徒論語体験作文発表。

④研修会・講座（各種団体の主催事業への協力）

【研修会等】鶴岡市採用新採職員研修他、合計18件／【修学旅行等】川西町立小松小学校6年生、合計1件／【視察】山形開発公社連絡協議会他、合計15件／【致道館の学習・庄内論語の素読等実施校】（市内小中学校）鶴岡市立朝陽第二小学校6年生他小学校12校12学年、中学校3校2学年+1学級、計607名【その他】鶴岡市三瀬保育園年長組「庄内論語の素読」4月～3月に12回、講師：富樫恒文氏（前統括文化財保護指導員）／山形大学農学部への出張講座「地域から学ぶ 藩校致道館の教育精神」

⑤旧致道館関係書籍の頒布のほか、『親子で楽しむ庄内論語』第9版8,000部（発行日12月1日、1冊500円に改定）を発行して頒布に努めた。

⑥広報活動として新聞・テレビ等の報道機関や鶴岡市広報などへ資料提供を行い、取材協力依頼に対応した。



論語素読講座風景



論語素読検定の様子

2 鶴岡市指定有形文化財大宝館の保存管理活用事業

指定管理者制度により鶴岡市教育委員会と契約を締結、管理運営受託法人として管理運営し、鶴岡市指定有形文化の保存活用を図った。

(1) 大宝館の保存管理に関する事業

- ① 外構管理として、建物（玄関）周囲の清掃及び除草、玄関脇と県道沿いの「大宝館説明板」の清掃、建物周辺の除雪を行った。
- ② 建造物並びに館内管理として、建物周囲点検、高山樗牛誕生の間・横光利一と千代の部屋・中田喜直ピアノの日常清掃を実施した。バルコニー除雪、荒天時は建物の影響を確認して報告した。防災設備（自動火災報知機・消火器）の保守点検を実施した。夜間及び休館日の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練を1回実施し、予防災害対策を確認した。
- ③ 館内環境の衛生を保つため、館内の衛生対策を実施。手指消毒液の設置、館内の換気、受付カウンターや手摺等の消毒、順路表示の設置等を行った。

(2) 郷土の興隆に貢献した人物等に関する資料の展示事業

- ①第47期常設展示（4月1日～令和7年3月31日）：継続して常設展示を行った。
- ②第47期企画展示「庄内美術の粋～白甕社100年の歩み～」（4月1日～令和7年3月25日）：白甕社創設以前から草創期にかけて、庄内における美術教育の礎を築いた小貫博堂やその教え子たち、白甕社の創設に奔走した中心人物たち、中興期を支えて白甕社を名実ともに優れた美術団体に導いた美術家たちを中心に展示した。
- ③第47期横光利一展示「『旅愁』のころ」：2階展示室で、横光利一の小説『旅愁』を中心に、渡欧中に千代夫人に宛てた書簡やトランク、ホテルの領収証などの思い出の品々や、佐野繁次郎画伯の装幀画などの展示を行った。
- ④パネル展示：2階北側集会室で「酒井忠明写真展」を、南側集会室で継続して「庄内戊辰の役～酒井了恒率いる第2番大隊の戦い～」を展示した。

(3) 教育普及事業

- ①イベントの実施・協力：【大宝館夏休みイベント8月3日～18日】大宝館クイズラリー「スリーヒントクイズ」館内を回ってヒントをみつけよう／自由研究のヒントを探そう～スタッフが自由研究のお手伝いをします～【致道博物館×刀剣乱舞 ONLINE コラボ企画4月27日～6月17日】刀剣男士「信濃藤四郎」等身大パネル展示【大宝館ブルーライトアップ11月11日～17日】世界糖尿病デー【大宝館ライトアップ12月23日～令和7年2月28日】鶴岡冬まつり
- ②広報活動：広報つるおか・新聞・テレビ・コミュニティ誌など報道機関への資料提供や取材協力依頼に務め、周知を図った。また、Xによって、展示や館内の情報、イベント、鶴岡公園の四季の移り変わりなどをリアルタイムに発信を行った。
- ③配布物：「第47期大宝館展示」マスコミ各社・周辺施設・デガム・旅行会社各社・コミセン・自治会／「大宝館夏休みイベント」鶴岡市内小学校・周辺施設・マスコミ各社
- ④解説業務：主に団体のお客様の到着時、建物の由来や施設内の案内を行った。学校関係の場合は案内のほか、興味ある人物に対する質問等に対応した。近年、仕事体験のプログラムへの対応等も増え、個人のお客様の関心も幅広く、様々な質問を受けるため、正しい情報をできるだけ詳細にお伝えできるよう、勉強や情報収集に努めた。
- ⑤その他：人物調査、関連人物情報のスクラップを行い、常設展示の候補人物や年度毎の企画展示のテーマや人物に関して、インターネットや新聞記事、『庄内人名辞典』や書籍等によって情報収集を行った。



企画展示「庄内美術の粋～白甕社100年の歩み」展示風景



横光利一展示「『旅愁』のころ」

収益事業

入館者への利便提供のための軽食喫茶の運営、及び博物館関連の書籍やグッズ等の販売

収益事業

(1) 博物館関連商品販売等事業

- ①館蔵品をモチーフとしたオリジナルグッズの企画・製作を行った。旧西田川郡役所の再公開に合わせた考古資料をモチーフとしたクリアファイル2種（クラウドファンディング返礼と共用）や、「御刀印」3種を新規に製作し、販売に供した。
- ②地元企業とのコラボ商品の企画開発のため、調査検討を進めた。昨年につき、オリジナル商品を季節販売した。
- ③「刀剣乱舞 ONLINE」コラボグッズなど、企業監修を受けての商品制作に取り組み、コラボ御刀印2種を新規に製作し、販売に供した。

(2) その他

- ①御隠殿での抹茶・菓子提供サービスとして、「酒井家名宝」展の会期中の土日祝（全13日間）に、とちもちや笹巻とお茶の提供を行った。自動販売機等を継続設置した。
- ②周辺飲食店と連携したコラボメニューの企画協力や販売を行った。「酒井家名宝」「鶴岡雛物語」の会期にあわせて、地元菓子店等の商品販売を充実させた。
- ③4月初旬、令和5年度末から工事していた受付ショップ棟のリニューアルが完成した。販売面積が大幅に増えたこともあり、商品陳列にも工夫を行い、キャッシュレス端末や新規レジ導入とともに来館者の利便性向上に努めた。



拡幅工事により広がったショップスペース



レジカウンター（後ろの窓は4月に塞ぐ前の状態）

令和6年度致道博物館 法人運営および施設管理の概要

令和7年3月31日現在

五十音順・敬称略

1. 役員に関する事項

役員名	氏名	備考
【理事8名】		
代表理事	酒井 忠順	東北公益文科大学 評議員 (公財)本間美術館 評議員
理事	伊藤 彰	(公財)東北振興研修所 理事長
〃	植松 芳平	鶴岡市文化財保護審議会 会長
〃	國井 美保	NPO 法人 公益のふるさと創り鶴岡 代表理事
〃	田中 章夫	(公財)本間美術館 館長
〃	沼沢 紀恵	鶴岡市教育委員会 社会教育課長
〃	東山 昭子	前鶴岡市芸術文化協会 会長
〃	本間 豊	(公財)致道博物館 学芸部長
【評議員15名】		
評議員	石原 純一	鶴岡観光協会 会長
〃	上野 隆一	(株)ウエノ 代表取締役社長
〃	遠田 達浩	田川地区高等学校校長会 代表
〃	大澤 賢史	(公財)山形美術館 館長
〃	大沼 賀世	寒河江市文化財保護委員
〃	上林 恒平	刀匠・山形県指定無形文化財保持者
〃	齋藤 拓	白甕社 委員長
〃	齋藤 祐一	山形県立博物館 館長
〃	佐藤 祐司	鶴岡信用金庫 理事長
〃	菅井 崇広	(株)きらやか銀行 鶴岡中央支店長
〃	布川 敦	鶴岡市教育委員会 教育長
〃	橋本 政之	致道館文化振興会議 会長
〃	堀 誠	松ヶ岡開墾場 理事長
〃	本間 謙三	(公財)本間美術館 代表理事
〃	皆川 陽	(株)荘内銀行取締役 監査等委員
【監事2名】		
監事	犬塚 晴夫	弁護士
〃	本間 厚	税理士
【顧問5名】		
名誉館長	酒井 忠久	(公財)日本美術刀剣保存協会 会長
顧問	皆川 治	鶴岡市長
〃	犬塚 幹士	前鶴岡市文化財保護審議会 会長
〃	酒井 天美	元学校法人城南学園 理事長
〃	田中 尹	元鶴岡織物工業協同組合 理事長
(参与2名)		
参与	加藤 徹三	元(公財)致道博物館 理事
〃	酒井 英一	前(公財)致道博物館 学芸調査役

2. 役員会に関する事項

■理事会

開催日・会場	議事内容	会議の結果
令和6年6月4日 旧鶴岡警察署庁舎 1階ホール	(1)令和5年度事業報告の件 (2)令和5年度決算報告の件 (3)特定資産取り崩しの件 (4)令和5年度国指定文化財管理費補助事業報告並びに収支決算の件、令和6年度国指定文化財管理費補助事業計画並びに収支予算の件 (5)令和6年度定時評議員会の開催の件 (6)任期満了に伴う評議員推薦の件 (7)補充選任に伴う監事推薦の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 承認 承認 承認
令和7年2月6日 グランドエルサン 2階カトレア	(1)令和6年度補正予算(案)の件 (2)令和7年度事業計画(案)の件 (3)令和7年度収支予算(案)の件 (4)重要文化財旧西田川郡役所美観向上整備事業(案)の件	可決承認 可決承認 可決承認 了承

■評議員会

開催日・会場	議事内容	会議の結果
令和6年6月18日 旧鶴岡警察署庁舎 1階ホール	(1)議事録署名人選出について (2)令和5年度事業報告の件 (3)令和5年度決算報告の件 (4)任期満了に伴う評議員選任の件 (5)監事補充選任の件 その他 ①特定資産の取り崩しの件 ②令和5年度国指定文化財管理費補助事業報告並びに収支決算令和6年度国指定文化財管理費補助事業計画並びに収支予算の件 ③その他	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 了承 了承

■監査

開催日・会場	議事内容	会議の結果
令和6年5月29日 鶴岡警察署庁舎 旧署長室	令和5年度会計監査	承認

3. 申請及び許可・認可・承認並びに届出等に関する事項

■登記・届出に関する事項

日付	内容
6月26日	令和5年度事業報告等を山形県に電子提出
7月16日	理事・評議員・監事就任に伴う変更を山形県地方法務局にて登記完了
8月9日	理事・評議員変更を山形県に電子届出
2月15日	令和7年度事業計画書等を山形県に電子提出

■申請・許認可・報告に関する事項

日付	内容
4月1日	展示事業の共催および補助金等について、山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市・鶴岡市教育委員会へ各申請書を提出。同日付で承認・交付が決定
4月1日	文化資源調査事業について、鶴岡市へ補助金等交付を申請。同日付で交付が決定
4月1日	国指定文化財(旧西田川郡役所・旧渋谷家住宅・旧鶴岡警察署庁舎・酒井氏庭園)の4件の文化財管理事業の補助金等について、申請書を山形県(国庫補助)と鶴岡市へ提出。同日付で承認
4月1日	鶴岡市へ市街地周遊促進事業の補助金申請を行い、同日付で交付決定。「大名酒井家の名宝」に合わせたイベント経費に充当。7月26日に事業完了
4月1日	鶴岡市史跡旧致道館の管理運営委託料に関する年度協定書締結
4月1日	鶴岡市大宝館の管理運営委託料に関する年度協定書締結
4月11日	旧西田川郡役所の大時計修理の終了報告を文化庁へ提出
4月～7月	令和5年度の展示事業補助金等の実績報告書を山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市へ提出
5月21日	旧鶴岡警察署庁舎玄関扉の風害による毀損を届出。破損部分の交換修理を行い、9月19日に修理終了報告を文化庁へ提出
6月26日	任期満了に伴う致道博物館理事・監事就任願を提出。後日、就任承諾書を受理
7月10日	館内の消防用設備等の点検結果報告書を鶴岡市消防署へ提出。同日付で受理
8月5日	企画展の実施に伴う県指定文化財の場所変更届を山形県に提出。後日受理
8月12日	企画展の実施に伴う酒田市指定文化財の場所変更届を酒田市に提出。後日受理
10月4日	国指定文化財4件の文化財管理費について、山形県と鶴岡市へ経過状況を報告
11月26日	松ヶ岡・米作り用具収蔵庫の消防設備等の点検結果を鶴岡市消防署へ提出。同日受理
12月	旧鶴岡警察署内での石油ファンヒーターの使用ならびに旧渋谷家住宅での「民家の火たき」実施に伴い、喫煙等承認申請書を鶴岡市消防署へ提出。後日承認
12月～1月	消防訓練通報書を鶴岡市消防署へ提出。訓練を12月と1月に2回実施
1月20日	サムライゆかりのシルク日本遺産魅力発信PR事業助成金申請書を協議会へ提出、同日交付決定。御隠殿の戊辰明治常設展示パネルを制作。3月24日に事業完了
1月28日	旧西田川郡役所塔屋時計塔の修理のため、美観向上整備事業補助金を申請
2月28日	防火体制に関する意見書の提出について鶴岡市消防署へ申請。後日意見書を受理
3月15日	企画展の実施に伴う山形県指定文化財の場所変更届を山形県に提出。後日受理
3月20日	松ヶ岡4番蚕室(庄内農具館)の旧展示資料であった開墾・農業関連資料等の保管のため、鶴岡市へ普通・行政財産借受申請書等を提出。後日承認
3月21日	国指定文化財4件の文化財管理費について、山形県と鶴岡市へ完了報告を提出

4. 運営・管理に関する事項 ※前出の普及事業（講座・イベント等）を除く

日付	内容
4月1日	令和6年度致道博物館辞令交付式・全体会議。一般入館料金を800円から1,000円に改定
4月2日	旧西田川郡役所の大時計の交換取付けが完了。※クラウドファンディング（CF）による「致道博物館再始動プロジェクト」として実施
4月3日	受付ショップ棟リニューアル工事・レジ及び販売用什器設置完了
4月6日	旧庄内藩主御隠殿の常設展示を再開（鶴岡雛物語は4月3日に終了）
4月13日	「歴史の扉 飛鳥と庄内藩」展ギャラリー講座を開催。24名
4月17日	旧西田川郡役所玄関の軒瓦の補修と鬼瓦の取付工事が終了
4月19日	CFの返礼プランとして、旧西田川郡役所の特別夜間内覧会とプロジェクトマップピングを実施。2組4名
4月20日	旧西田川郡役所の再公開に際し、関係者向けの特別内覧会（18～19時）並びにプロジェクトマップピング（19～21時）を実施。150名が来館
4月27日	西田川郡役所の常設展示リニューアル・再公開開始。「国宝展示 大名酒井家の名宝」展開幕。両事業のオープニングセレモニー（記念式典）および刀剣乱舞コラボイベントを実施。役員30名出席。同日の来館者は283名、イベント参加延数365名
5月12日	館用車プロボックス納車（リース）。10月8日にサクシード廃車
5月17日	16日夜から17日朝にかけての暴風により、旧鶴岡警察署庁舎の玄関扉右側1枚が破損（届出等は前出）。他に被害なし。
5月29日	山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課より2名が来館、展覧会事業にかかる令和5年度山形県博物館共催事業および負担金の実地検査を実施。
6月1日	少年少女古典素読教室開講式（8月3日に閉講式）
6月4日	公益財団法人致道博物館理事会開催（旧鶴岡警察署庁舎ホール）
6月16日	合同茶会〈2流派／大日本茶道学会:御隠殿、裏千家:旧鶴岡警察署ホール〉380名
6月18日	公益財団法人致道博物館評議員会開催（旧鶴岡警察署庁舎ホール）
6月21日	文化庁調査官来館、旧西田川郡役所他視察〈県・市の随行を含む〉4名
6月22日	「山口吉彦コレクション アマゾンワールド」展開幕
6月30日	少年少女古典素読教室史跡文化財巡り〈玉簾の滝他〉19名
7月17日	山形県文化財保護委員会による文化財管理・防災パトロール（対象:酒井氏庭園）
7月23日	中央高校2年次インターンシップ受入（～7/25）5名
7月30日	「致道館高校ダイバーシティウィーク:学芸体験」（～8/1。8/6～8/8も実施）計10名。
8月3日	少年少女古典素読教室閉講式 23名
8月16日	学芸員実習受入（～8/21）9大学より大学生10名
8月23日	「白甕社創立100年記念 ART de Shonai 庄内の美術」展開幕
9月2日	旧西田川郡役所ペンキ塗装北面1階、全面一部修理工事（～9/30）
9月14日	日本遺産北前船3市（鶴岡・にかほ・由利本荘）連携企画展 第3弾が本荘郷土資料館および修身館を会場に開幕（～R7/1/13）。3ヵ年事業が完了
9月21日	「手のひらに、江戸 檜細工師 三浦宏の粋」展開幕
9月11日	旧鶴岡警察署庁舎ペンキ塗装西1階修理工事（～10/11）

日付	内容
10月7日	山形県博物館連絡協議会研修会受入（於致道館・致道博物館）23名
10月12日	姉様人形保存会作品展示会（於美術展覧会場1階）開催
10月14日	旧西田川郡役所旧応接室展示リニューアル工事（～10/30）
10月15日	旧渋谷家住宅の屋根差し茅工事（～11/1）
10月26日	「東北文化の日」事業に参加（～11/24、土日祝は小中学生入館無料）83名
11月1日	砂の会作品展（旧鶴岡警察署庁舎ホール）開催
11月15日	企画展「ワッパ騒動 自由民権運動の先駆け」展開幕
11月15日	旧西田川郡役所旧応接室ドールハウス展示増設公開開始
11月25日	酒井氏庭園ほか館内雪囲い（～11/27）
11月30日	ワッパ騒動展ギャラリートーク 31名
12月1日	御隠殿關雎堂壁1面崩落、12/11修理工事（剣持工務店）
12月8日	ワッパ騒動展講演会 山内励氏・升川繁敏氏（於市立図書館）71名
12月20日	美術展覧会場漏水管交換バイパス取付修理工事（～1/6）
12月22日	ワッパ騒動展講演会 門松秀樹氏（於旧鶴岡警察署庁舎ホール）48名
12月25日	美術展覧会場ガラス扉フロアヒンジ交換修理工事
12月28日	防災避難誘導訓練を実施、1/27に総合訓練を実施
1月6日	学芸員実習受入（～2/6）社会人1名
1月10日	「新しい公益法人制度説明会」（於宮城県行政庁舎講堂）に参加
1月12日	旧渋谷家住宅〈民家の火たき〉（～3/2の日曜、週2回）
1月24日	共催展示「第45回 鶴岡書道会会員展」開幕
1月25日	学芸員採用面接・口頭試問（～1/26）※応募受付期間1/6～1/14
1月30日	文化庁・文化観光推進事業〈拠点計画〉オンライン相談
2月6日	公益財団法人致道博物館理事会開催（グランドエル・サン）
2月9日	台湾向けYOUTUBE（創造旅行社、JR東日本創造旅遊）取材撮影
2月11日	「民家の火たき」取材（さくらんぼテレビ、山形テレビ）別日に市広報他
2月11日	前監査役の氏家昇一氏が逝去。
2月15日	企画展「新収蔵品展 刀剣と美術」開幕
2月16日	「先賢を偲ぶの会」催行 35名
2月17日	御隠殿大掃除・障子貼替・雛展示替（～21日）
2月22日	企画展「第31回 鶴岡雛物語」開幕
2月25日	サポーター制度説明会（旧世話人会）開催（旧鶴警ホール） 20名出席
3月11日	冬囲い外し作業（阿部園芸、剣持工務店、山口工務店ほか）
3月15日	東洋蘭展に共催（～3/17、鶴岡東洋蘭同好会主催）
3月31日	『大泉叢誌』第8集を翻刻出版

5. 新収蔵に関する事項

■令和6年度 新収蔵美術品一覧（※主な寄贈品）

	種類	作者名等	作品名／制作年	形状・材質・技法	員数	備考
1	絵画	清原雪信	山水図	軸装・絹本・墨画	1幅	★
2	絵画	中林竹洞	竹林図	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	★
3	絵画	江馬細香	竹図／安政3年(1856)	軸装・絹本・墨画	1幅	★
4	絵画	梁川紅蘭	山水図／明治5年(1872)	軸装・絹本・墨画	1幅	★
5	絵画	中林竹溪	竹林王古図	軸装・絹本・墨画	3幅対	★
6	絵画	熊谷直彦	雨中山水図	軸装・絹本・墨画	1幅	★
7	絵画	小貫博堂	柳下釣人図	軸装・絹本・墨画	1幅	
8	絵画	富樫景堂	山桜図	軸装・紙本・着色	1幅	
9	絵画	狩野永真	寒山拾得図	軸装・絹本・墨画	双幅	◆
10	絵画	狩野安信(牧心斎)	松鶴図	軸装・絹本・墨画淡彩	3幅対	◆
11	絵画	狩野益信(洞雲)	龍・維摩・虎図	軸装・絹本・墨書	3幅対	◆
12	絵画	建部凌岱	山水図	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
13	絵画	春木南湖	溪山幽居図	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
14	絵画	浜田杏堂	秋景山水図	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
15	絵画	狩野榮信(伊川院)	旭鶴図(双鶴旭日図)	軸装・絹本・着色	1幅	◆
16	絵画	狩野榮信(伊川院)	山水図	軸装・絹本・墨画	双幅	◆
17	絵画	貫名菘翁(海屋)	山水図	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
18	絵画	細川林谷	山水図	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
19	絵画	沙門鐵翁	青山紅樹図 自画賛／天保12年(1841)	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
20	絵画	春木南溟	夏景山水図／明治7年(1874)	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
21	絵画	高久靄厓	李白觀瀑図	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
22	絵画	福田半香	山水図	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
23	絵画	斎藤崎庵	山水図 杏花洞天図／慶應元年(1865)	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
24	絵画	中西耕石	山水図 自画賛／明治7年(1874)	軸装・絹本・墨画淡彩	1幅	◆
25	絵画	塩川文麟	霞淀川図	軸装・紙本・墨画	1幅	◆
26	絵画	山本栞谷	舟遊図／明治6年(1873)	軸装・紙本・墨画着色	1幅	◆
27	絵画	竹村大鳳	春川図	軸装・絹本・着色	1幅	◆
28	絵画	田能村直入	墨竹図／明治4年(1871)	軸装・紙本・墨画	1幅	◆
29	絵画	長谷川嵐溪	浅縫山水図	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
30	絵画	胡公寿	墨老梅図	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
31	絵画	村山半牧	山水図(天番■宝図)／文久元年(1861)	軸装・紙本・墨画着色	1幅	◆
32	絵画	菅原白龍	春景山水図 自画賛	軸装・紙本・墨画着色	1幅	◆
33	絵画	渡辺小華	雀群図	軸装・紙本・墨画着色	1幅	◆
34	絵画	奥原晴湖	山水図／明治39年(1906)	軸装・絹本・墨画淡彩	1幅	◆
35	絵画	猪瀬東寧	寒村孤亭図	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
36	絵画	河村雨谷	山水図／明治15年(1882)	軸装・紙本・墨画	1幅	◆
37	絵画	高森碎巖	秋江晚望図 自画賛／慶應2年(1866)	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
38	絵画	地主白道(悌助)	早春図(日本画)	軸装・絹本・墨画着色	1幅	◆
39	絵画	真島北光	軍鶏図	軸装・紙本・着色	1幅	◆
40	絵画	金子金凌	蓮二蜻蛉図	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆

	種類	作者名等	作品名／制作年	形状・材質・技法	員数	備考
41	絵画	匂田台嶺	秋景山水図／明治9年(1876)	軸装・絹本・墨画淡彩	1幅	◆
42	絵画	金子雪操	山水図 自画賛／安政3年(1856)	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
43	絵画	中西耕石	山水図 自画賛	軸装・紙本・墨画淡彩	1幅	◆
44	絵画	野坂是勇	新墾の丘／昭和48年(1973)	額装・キャンバス・油彩	1面	◆
45	書跡	皆川淇園	五言絶句「詠亀」	軸装・紙本・墨画書	1幅	
46	書跡	中山愛親	一行書「報以不福萬寿無疆」	軸装・紙本・墨書	1幅	
47	書跡	西郷隆盛	七言絶句「弧村」	軸装・紙本・墨書	1幅	
48	書跡	副島種臣(号・蒼海)	風雪篇 七言絶句	軸装・紙本・墨書	1幅	◆
49	書跡	土屋竹雨	書簡 酒井伯爵家(御取次)宛	額装・紙本・墨書	1面	
50	書跡	佐藤鉄太郎	二行書	軸装・紙本・墨書	1幅	◆
51	書跡	伊豆凡夫	明治天皇御製「さしのぼる…」	軸装・紙本・墨書	1幅	
52	書跡	酒井忠良		軸装・紙本・墨書	1幅	
53	書跡	酒井忠良・忠孝・忠悌他	四公即席染書「清遊」	軸装・紙本・墨書	1幅	
54	書跡	酒井忠明	五大字「桃花千栄春」／昭和57年(1982)	軸装・紙本・墨書	1幅	
55	書跡	酒井忠一(桃嶺)	五言詩「洞庭湖…」／平成6年(1994)	軸装・紙本・墨書	1幅	
56	書跡	地主白道(悌助)	一行書「騰々随道之」	軸装・紙本・墨書	1幅	◆
57	工芸		金梨子地蒔絵堤重		1個	◆
58	工芸		貝徳利		2個	◆
59	工芸		天目茶碗	焼き物	1口	◆
60	工芸		高麗焼青磁中皿(朝鮮・高麗時代)	焼き物	1枚	◆
61	工芸		高麗焼雲鶴紋青灰磁菓子器	焼き物	1点	◆
62	工芸	古田織部所用	黒瀬戸耳付茶入「銘みみつく」	焼き物	1点	◆
63	工芸	松逸	鳳凰金蒔絵棗	漆工品	1口	◆
64	工芸	宗光	虫蒔絵竹香合	漆工品	1点	◆
65	工芸	音羽山陶裁	青萃甕四方透蓋置	焼き物	1口	◆
66	工芸	短刀	銘 大和國住包行	鉄製品	1口	◆
67	工芸	伝梅忠	金銀象嵌丸鐔	鉄製品	1枚	◆
68	工芸		刀 無銘		1口	
69	工芸		軍扇(朱の丸および北斗七星図)		1本	
70	工芸		雛人形(鶴岡・三井本家)		1式	◆

■総数 絵画：71件／書跡：43件／工芸品等：14件 128件

★三矢宮松コレクション

◆三井コレクション

■令和6年度 寄贈図書

受領日	寄贈者	図書名	価格(円)	数量	備考
4月29日	長井市	長井市史 通史第4巻 現代編・総説	3,300	1	

6. 館蔵資料の館外貸出に関する事項

貸出先	使用目的と貸出資料	貸出期間
県立金峰少年自然の家	常設展示に岡山遺跡・杉ヶ沢遺跡出土の土器・石器 17点	4月1日より 1年（継続）
史跡旧致道館	常設展示に被仰出書・版木など関係資料 32点	4月1日より 1年（継続）
山形県郷土館「文翔館」	常設展示「最上川は語る」にハネバンドリ 1点	4月1日より 1年（継続）
山形県立博物館	常設展示に遊佐町吹浦遺跡出土の縄文土器・深鉢 1点	4月1日より 2年（継続）
山形県立博物館	特別展「海に入るまで濁らざりけりー『母なる川』 最上川一」に最上川谷地押切渡方柏沢迄絵図 乾 巻・坤巻複製 計2点	5月14日から 8月27日まで
鶴岡市立藤沢周平記念館	第22回企画展〈『龍を見た男』の世界〉に船筆笥他 計11点	6月7日から R7.4月15日まで
白甕社	創立100周年記念・令和6年度白甕社美術展に絵画 作品（齋藤求「裸婦」他）計4点	8月23日から 9月8日まで
鶴岡市北前船日本遺産推 進協議会（秋田・由利本 荘市会場）	由利本荘市・鶴岡市・にかほ市3市連携企画展第3 弾、本荘郷土資料館・修身館で開催）に竹製望遠鏡 他北前船関連資料 計5点	9月3日から R7.1月23日まで
港区立郷土歴史館	令和6年度特別展「激動する幕末維新の港区」に南 州翁遺訓（初版）他 計3点	10月4日から 12月26日まで
鶴岡アートフォーラム	企画展「庄内の美術家たち20 没後50年 地主悌助 ×矢作隆一 石を描く、石を彫る」に地主悌助「大 皿」他 計13点	12月25日から R7.3月23日まで
史跡旧致道館	展示資料として荻生徂徠筆五言連句「海内天涯」 （写）1点	R7.1月11日から 3月31日まで
府中市美術館	企画展「司馬江漢と亜欧堂田善 かつこいい油絵」 に司馬江漢「鉄砲州富士遠望図」他 2件	R7.2月18日から 5月15日まで

7. 入館者等に関する事項

■致道博物館 入館者数

月	開館 日数	一般			高大生		小中生	招待	合計
		個人	団体	会員	有料	会員	有料		
4月	30	2,308	696	331	69	3	96	46	3,549
5月	31	4,112	241	421	265	167	183	94	5,483
6月	30	3,066	440	355	96	68	75	64	4,164
7月	31	2,074	418	260	66	184	152	64	3,218
8月	31	2,782	271	405	269	10	353	118	4,208
9月	30	1,915	505	301	180	4	200	73	3,178
10月	31	2,873	899	433	77	9	274	79	4,644
11月	30	2,193	580	332	94	6	566	114	3,885
12月	23	417	63	133	38	7	48	33	739
1月	23	449	35	143	13	0	105	27	772
2月	24	625	52	272	52	5	40	20	1,066
3月	27	1,476	231	425	130	3	124	176	2,565
合計	341	24,290	4,431	3,811	1,349	466	2,216	908	37,471
前年度計		25,660	4,377	4,308	1,536	282	2,319	883	39,365
増減		-1,370	54	-497	-187	184	-103	25	-1,894

■致道博物館 友の会会員数

	賛助会員	特別会員	普通会員	東京賛助	東京会員	学生会員	合計
令和6年度	208	91	1,048	48	129	2,031	3,555
令和5年度	212	92	1,119	47	134	2,077	3,681
増減	-4	-1	-71	1	-5	-46	-126

■致道博物館 HPアクセス数

	PV	ユニークPV
4月	17,506	6,486
5月	19,186	7,386
6月	14,649	5,954
7月	12,228	4,989
8月	12,683	5,246
9月	11,316	4,622
10月	10,727	4,532
11月	8,792	3,584
12月	8,626	3,514
1月	9,205	3,728
2月	9,742	3,815
3月	12,067	4,608
年間合計	146,727	58,464

※PV（ページビュー）

サイト訪問者が閲覧した全てのページ数の合計。同じ人物が何度もアクセスした場合、その都度カウントされる。

※ユニークPV

サイト訪問者が閲覧した回数やページ数に関わらず1カウント。複数回アクセスしても1回だけカウントされる。

致道博物館 入館者総数

	大人	学生	年度合計
昭和25年/1950	2,071	8,285	10,356
昭和26年/1951	3,015	8,485	11,500
昭和27年/1952	5,759	11,590	17,349
昭和28年/1953	4,903	9,650	14,553
昭和29年/1954	8,152	31,120	39,272
昭和30年/1955	11,348	38,363	49,711
昭和31年/1956	13,806	45,046	58,852
昭和32年/1957	20,872	39,447	60,319
昭和33年/1958	25,831	34,825	60,656
昭和34年/1959	19,937	31,232	51,169
昭和35年/1960	20,539	29,712	50,251
昭和36年/1961	23,953	32,764	56,717
昭和37年/1962	22,178	41,282	63,460
昭和38年/1963	22,813	39,449	62,262
昭和39年/1964	21,321	37,016	58,337
昭和40年/1965	23,411	32,016	55,427
昭和41年/1966	26,886	32,999	59,885
昭和42年/1967	24,563	29,266	53,829
昭和43年/1968	28,205	26,800	55,005
昭和44年/1969	29,044	27,412	56,456
昭和45年/1970	28,049	23,043	51,092
昭和46年/1971	34,001	22,645	56,646
昭和47年/1972	44,811	28,098	72,909
昭和48年/1973	63,659	29,888	93,547
昭和49年/1974	73,725	30,607	104,332
昭和50年/1975	86,509	32,328	118,837
昭和51年/1976	88,135	30,113	118,248
昭和52年/1977	95,706	29,571	125,277
昭和53年/1978	93,987	25,531	119,518
昭和54年/1979	107,889	29,429	137,318
昭和55年/1980	117,722	28,344	146,066
昭和56年/1981	107,526	25,656	133,182
昭和57年/1982	130,037	24,961	154,998
昭和58年/1983	131,477	24,060	155,537
昭和59年/1984	126,699	26,539	153,238
昭和60年/1985	135,574	23,802	159,376
昭和61年/1986	127,461	23,810	151,271
昭和62年/1987	123,454	22,575	146,029
昭和63年/1988	124,266	21,612	145,878

	大人	学生	年度合計
平成元年/1989	133,415	19,662	153,077
平成2年/1990	129,968	23,337	153,305
平成3年/1991	132,502	20,541	153,043
平成4年/1992	144,907	16,031	160,938
平成5年/1993	139,841	15,437	155,278
平成6年/1994	148,799	21,524	170,323
平成7年/1995	137,810	12,269	150,079
平成8年/1996	128,017	9,907	137,924
平成9年/1997	111,874	9,177	121,051
平成10年/1998	95,757	8,166	103,923
平成11年/1999	94,071	6,701	100,772
平成12年/2000	85,280	5,819	91,099
平成13年/2001	85,185	6,051	91,236
平成14年/2002	81,599	5,173	86,772
平成15年/2003	80,043	5,887	85,930
平成16年/2004	76,051	4,585	80,636
平成17年/2005	64,682	4,490	69,172
平成18年/2006	70,779	4,016	74,795
平成19年/2007	69,941	4,538	74,479
平成20年/2008	67,036	4,688	71,724
平成21年/2009	64,518	4,423	68,941
平成22年/2010	56,525	3,429	59,954
平成23年/2011	42,758	4,421	47,179
平成24年/2012	45,525	3,476	49,001
平成25年/2013	39,145	3,065	42,210
平成26年/2014	40,557	3,250	43,807
平成27年/2015	36,373	3,420	39,793
平成28年/2016	42,174	4,137	46,311
平成29年/2017	45,676	4,914	50,590
平成30年/2018	44,231	4,184	48,415
令和元年/2019	45,590	4,148	49,738
令和2年/2020	20,363	4,196	24,559
令和3年/2021	19,828	7,814	27,642
令和4年/2022	32,268	5,730	37,998
令和5年/2023	35,228	4,137	39,365
令和6年/2024	33,440	4,031	37,471
合計	4,921,050	1,366,145	6,287,195

*1 昭和25年6月14日開館

*2 昭和26年以降の事業期間は1/1～12/31（年）

*3 平成6年の事業期間は1/1～翌年3/31（15ヶ月）

*4 平成7年以降の事業期間は4/1～翌年3/31（年度）

*5 新型コロナウイルスの影響で4/6～5/10臨時休館

■史跡 旧致道館（旧庄内藩校）入館者数

月	開館 日数	市内				県内				県外				合計			
		一般	学生	小中	計	一般	学生	小中	計	一般	学生	小中	計	一般	学生	小中	計
4月	26	262	4	30	296	232	14	9	255	1,602	31	36	1,669	2,096	49	75	2,220
5月	26	261	8	175	444	264	15	10	289	1,819	61	47	1,927	2,344	84	232	2,660
6月	26	139	4	20	163	174	6	7	187	1,859	29	8	1,896	2,172	39	35	2,246
7月	26	104	1	115	220	118	9	8	135	1,353	19	62	1,434	1,575	29	185	1,789
8月	28	123	20	25	168	138	6	17	161	1,641	108	146	1,895	1,902	134	188	2,224
9月	26	219	9	76	304	185	3	18	206	1,448	38	13	1,499	1,852	50	107	2,009
10月	26	384	7	109	500	189	4	5	198	1,966	20	26	2,012	2,539	31	140	2,710
11月	26	128	2	247	377	123	3	6	132	2,060	15	20	2,095	2,311	20	273	2,604
12月	24	43	12	16	71	19	0	0	19	525	12	8	545	587	24	24	635
1月	24	27	1	5	33	30	0	3	33	530	14	5	549	587	15	13	615
2月	24	65	9	45	119	22	2	4	28	537	22	7	566	624	33	56	713
3月	27	120	5	40	165	107	3	4	114	1,175	63	28	1,266	1,402	71	72	1,545
合計	309	1,875	82	903	2,860	1,601	65	91	1,757	16,515	432	406	17,353	19,991	579	1,400	21,970
前年度計		2,457	93	949	3,499	1,522	84	126	1,732	14,221	390	626	15,237	18,200	567	1,701	20,468
増減		-582	-11	-46	-639	79	-19	-35	25	2,294	42	-220	2,116	1,791	12	-301	1,502

■大宝館 入館者数

月	開館 日数	市内				県内				県外				合計			
		一般	学生	小中	計	一般	学生	小中	計	一般	学生	小中	計	一般	学生	小中	計
4月	26	558	45	77	680	857	27	89	973	2,339	30	64	2,433	3,754	102	230	4,086
5月	26	319	13	90	422	437	15	49	501	2,138	55	87	2,280	2,894	83	226	3,203
6月	26	157	6	31	194	185	18	4	207	1,948	8	38	1,994	2,290	32	73	2,395
7月	26	99	4	4	107	116	4	10	130	1,106	6	26	1,138	1,321	14	40	1,375
8月	28	181	1	69	251	107	4	20	131	1,622	54	99	1,775	1,910	59	188	2,157
9月	26	162	0	13	175	119	0	24	143	1,575	19	23	1,617	1,856	19	60	1,935
10月	26	213	0	59	272	129	6	5	140	1,620	26	25	1,671	1,962	32	89	2,083
11月	26	140	3	27	170	124	5	5	134	1,322	6	27	1,355	1,586	14	59	1,659
12月	24	99	11	4	114	32	1	2	35	286	2	0	288	417	14	6	437
1月	24	117	0	5	122	44	1	7	52	288	1	10	299	449	2	22	473
2月	24	102	0	3	105	43	0	2	45	315	0	8	323	460	0	13	473
3月	26	207	0	17	224	114	3	8	125	881	15	49	945	1,202	18	74	1,294
合計	308	2,354	83	399	2,836	2,307	84	225	2,616	15,440	222	456	16,118	20,101	389	1,080	21,570
前年度計		2,389	79	521	2,989	2,300	71	209	2,580	13,697	198	668	14,563	18,386	348	1,398	20,132
増減		-35	4	-122	-153	7	13	16	36	1,743	24	-212	1,555	1,715	41	-318	1,438

■松ヶ岡開墾記念館 入館者数

月	開館 日数	有料			無料		合計	
		一般		高大生	小中生	招待		
		個人	団体					
4月	26	264	57	0	56	844	1,221	※さくらまつり（無料開放）
5月	26	235	92	0	86	5	418	
6月	26	159	68	0	4	16	247	
7月	26	128	24	0	73	68	293	
8月	28	249	0	0	23	74	346	
9月	26	196	53	0	3	568	820	※クラフトフェス（無料開放）
10月	26	281	128	0	1	20	430	
11月	26	270	33	0	57	49	409	
12月	24	29	0	0	2	8	39	
1月	24	16	0	0	9	24	49	
2月	24	35	0	0	0	82	117	※日本遺産の日（無料開放）
3月	27	215	0	0	7	49	271	
合計	309	2,077	455	0	321	1,807	4,660	
前年度計		1911	746	170	485	1041	4353	
増減		166	-291	-170	-164	766	307	